

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

学校名	宮城教育大学	個人・グループ名	情もの技専とメイキング	作品名	宮城県の立体観光案内
-----	--------	----------	-------------	-----	------------

1、製作の目的

小学校社会科ではパズルなどの教材を用いて、地理的分野の学習を行うことがあるが、宮城県に特化した教材は少ない。また、中学校技術科では3Dプリンタ等の導入が検討されており、技術科教員に必要なスキルを磨くべきだと考えた。そこで我々は3Dのモデリング能力のスキルアップと小学校社会科の教材の開発のため、本作品を製作することにした。

2、製作の方法

3D-CAD(Fusion360)と3Dプリンタ(Davinch-mini)とレーザー加工機(LaserPro-C180)を使用して宮城県の立体の観光案内を製作した。

3、製作物一覧

宮城県(地図盤)、仙台(笹かまぼこ、牛タン、仙台城址、伊達政宗の兜)、利府(梨)、鳴子(温泉マーク)、蔵王(お釜、樹氷)、雄勝(すずり)、鳴子・遠刈田・作並・弥治郎(こけし)

4、まとめ

3D-CAD、3Dプリンタ、レーザー加工機を使用して、各地に所縁のあるものをモデリング、出力し、配置することができた。本作品の製作を通して得た知識、技術を今後生かしていくと共に、小学校社会科の教材としての実践に取り組んでいきたい。

